

洪水に備える

洪水キキクル



氾濫の種類

外水氾濫

本流から水があふれて起きる浸水などの氾濫



大雨によって川の水が増え、水位が上がりが始める。

堤防いっぱいになると、堤防を越えて水があふれたり、堤防が決壊したりして、周辺が浸水する。

内水氾濫

水路などから水があふれて起きる浸水など



平地に降った雨は、側溝や水路などを通して川に排水される。

側溝や水路の排水能力を超える大雨が降ると、側溝や水路からあふれだし、道路や宅地が浸水する。

雨の強さと降り方

1時間雨量などの予報用語は気象庁やニュースなどの気象情報でよく使われています。このイメージを参考に雨の降り方に注意しましょう。

1時間雨量	10~20mm未満	20~30mm未満	30~50mm未満	50~80mm未満	80mm以上	110mm
予報用語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨	気象防災速報 (記録的短時間大雨)
人の受けるイメージ	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る	息苦しくなるような 圧迫感がある	数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨(気象台が発表)
人への影響	地面からの跳ね返りで足元が濡れる	傘をさしていても濡れる	傘は全く役に立たなくなる			特に、土砂災害警戒区域や浸水想定区域にお住まいの方は、避難情報を確認し、早めに避難行動を取ってください。
屋内(木造住宅を想定)	雨の音で話し声がよく聞き取れない		寝ている人の半数くらいが雨に気が付く			
屋外の様子	地面一面に水たまりができる		道路が川のようになる	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる		

河川の基準水位

※洪水浸水想定区域内にお住まいの方は特に市からの情報に注意してください。

	鬼橋(郡川)	長久寺橋(大上戸川)	金丸橋(大上戸川)	内田川	針尾川	鈴田川
▼堤防を越える						
▼氾濫危険水位	3.90m	2.99m	3.00m	2.70m	2.58m	4.29m
▼避難判断水位	3.40m		2.30m	1.90m		
▼氾濫注意水位	1.30m	2.39m	2.10m	1.50m	2.06m	3.43m
▼水防団待機水位	1.10m	1.79m	1.80m	1.10m	1.55m	2.57m

避難のポイント(洪水)



長靴は水が入って歩きにくく危険です。運動靴をはき、動きやすい格好で避難しましょう。



たれ下がった電線には触らないようにしましょう。



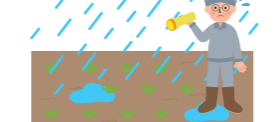
足元が見えないことが多いので、よく通っている道でも道路の真ん中を杖でつきながら慎重に歩きましょう。



橋を渡らないようにしましょう。



道路冠水時は、側溝、水路、マンホール、坂道、ため池などが危険です。



事前の処置をして、畑や田んぼの見回りは控えましょう。



鉄道の下など路面が低くなっているところ(アンダーパス)は、水がたまるおそれがあるので、車で入らないようにしましょう。

土砂キキクル



土砂災害に備える

土砂災害の種類とその前兆現象

土砂災害が発生するおそれのある区域として、土砂災害警戒区域・特別警戒区域を県が指定しています。

土砂災害警戒区域(イエローゾーン)

がけ崩れ等の土砂災害が発生した場合に、住民等の生命または身体に危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域。
危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。

土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)

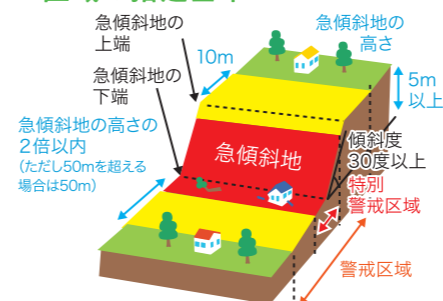
がけ崩れ等の土砂災害が発生した場合に、建築物に損壊が生じ、住民等の生命または身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域。
特定の開発行為の制限、建築物の構造規制等が行われます。

急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)

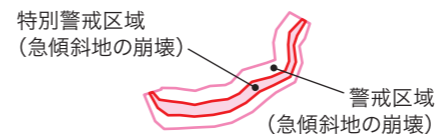
斜面の地表に近い部分が、雨水の浸透や地震等でゆるみ、突然崩れ落ちる現象です。



区域の指定基準



ハザードマップの表示



前兆現象

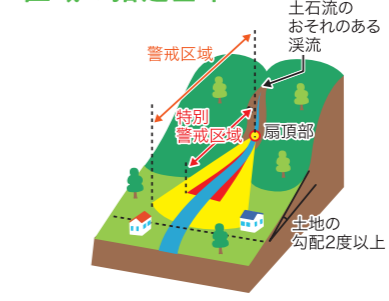
- がけに割れ目が見える。
- がけから水が噴出する。
- がけから小石がバラバラ落ちてくる。

土石流

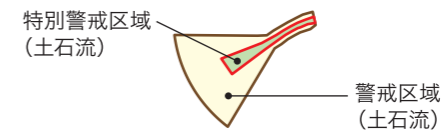
山腹や川底の石、土砂が長雨や集中豪雨等によって、一気に下流へと押し流される現象です。



区域の指定基準



ハザードマップの表示



前兆現象

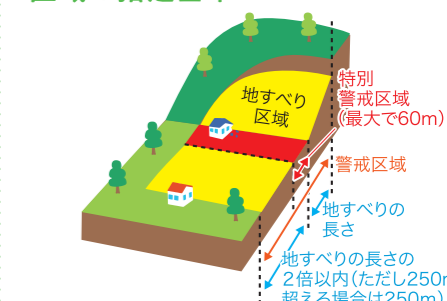
- 山鳴りがする。
- 川の水が濁り、流木が混ざりはじめる。
- 雨が降り続けているのに川の水位が下がる。

地すべり

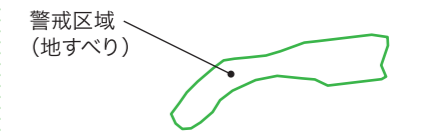
斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によって斜面下方に移動する現象です。



区域の指定基準



ハザードマップの表示



前兆現象

- 地面にひび割れができる。
- 沢や井戸の水が濁る。
- 斜面から水が噴き出す。

避難のポイント(土砂災害)

●屋外に避難する場合

避難する際は、土砂災害警戒区域等(イエローゾーン・レッドゾーン)を通らないようにしましょう。ハザードマップで区域を確認してください。

●屋外に避難できない場合

屋外に出ることがかえって危険な場合は、2階以上の斜面から離れた部屋で安全を確保してください。



●雨がやんだ後も注意

これまで降った雨が土の中に残っています。雨がやんでも土砂災害が発生するおそれがあるので注意しましょう。